

聴講者からの質問に対する回答（全26問）

小塚 郁也

質問一覧

1. 将来の夢や行きたい学部が決まっていない。どうして現職に就職したのか。
2. 仕事のやりがい。どうして国家公務員になったのか。
3. 国際政治を考えるとときに今後求められること（資質・適性？）
4. （高校時代の）どの科目が役立っているか。やりがい。
5. 高校時代にしておくべきこと。研究職の仕事内容。
6. 英語力の必要性。英語の習得方法。仕事のやりがい。週（1日）の労働時間。
7. 仕事のやりがい。国際関係の仕事に就くために今やっておくべきこと。留学経験。
8. 仕事を選んだ理由。英語の必要性。英語の学ぶ際の心がけ。
9. どうやって国家公務員になったのか。出身大学。仕事の具体的内容。やりがい。
10. 大学時代の学生生活。普段の仕事内容。
11. 何が現職につながったのか。国際政治を研究するとはどういうことか。
12. 仕事の内容。職業選択の理由。
13. 外国と良い関係を築く最適な方法。仕事のやりがい。グローバル化に対する日本の対策。
14. 外国特有の政治を知りたい。
15. 国際社会とはどのようなものか。
16. 研究職国家公務員に就いた経緯。どんな試験を受けたのか。
17. 世界で活躍するには何が必要か。
18. 国際政治とは何か。
19. 学生時代にやっておくべきこと。
20. 国際政治の現状と将来予測。仕事の魅力。
21. 仕事の内容。必要な資格。仕事をして楽しいのはどんな時か。
22. 国際政治とは何か。何に役立っているのか。グローバル化時代に何をして生きていくべきか。
23. どこから情報を得ているのか。
24. なぜこの仕事を選んだのか。
25. 普段の生活、どのような仕事をしているのか。
26. 研究職に就く場合にどのように生計を立てていくのか、高校時代にしておいた方が良いことは何か。

全回答

1. 将来の夢や行きたい学部は高校3年間で決めればよい。私の場合は少し例外で、もともと中学生の頃から社会科、特に日本史（高校時代は政経）が好きで抜群に得意だったので、その頃から社会科学の研究をしたいと思っていました。高校同期には文系クラスだったのに、医学部に進んだ友人もいます。したがって、高校1年生の時点では、大雑把な将来の希望さえ持っていればいいでしょう。
2. 講義や研究会を通じて（国内外問わず）多くの人と議論ができ、かつ感謝されることの多いことが仕事のやりがいです。どうして国家公務員になったのかと言えば、自分の大学院修了時期に偶然研究職の募集があったため。授業で話しますが、研究職に就くための競争率は信じられないほど高い（専攻分野にもよるが、概ね50倍以上と考えて下さい）。
3. 国際政治を考える際に重要な資質は、外国人やその社会に偏見を持たないこと。適性としては日本の伝統や文化を自分の言葉で説明できること。そのために、英語力を十分に身に付ける必要があります。
4. 高校時代の科目で仕事に最も役立っているのは、もちろん英語、世界史と地理。そして意外なことに、数学が論理的・抽象的に物事を考える上でとても重要です。
5. 高校時代にしておくべきことは、大人になって社会に貢献できるよう、道徳的な人間になること。技能としての知識と学力向上は私の高校生の頃は最重要でしたが、現在は二番目でしょう。
6. 英語力は重要。まず、単語と熟語を最大限暗記する。高校1年生にはまだ早いですが、最近の本では『【MP3音声DLつき】TOEFL(R)テスト ボキャブラリー+例文3900(留学対策シリーズ)』（ジャパントイムズ、2017年）などを全部暗記する。ある程度英単語と英熟語を習得したら、好きな洋画のDVDかBDを買って、1度目は日本語字幕で、2回目以降は英語字幕で繰り返し視聴するとためになる（ただし、洋画の英語は俗語が多いので、昔の名画の方が安いし好ましいでしょう）。週の労働時間は38時間45分（1日7時間45分）、フレックスタイムなので、残業は年度末の論文執筆期間中などを除けば余り多くありません。△△高校の先生よりは楽。
7. 同上参照して下さい。留学経験は、1993年にUCバークレイに短期の語学留学（TOEFL勉強のため）をしました。
8. 1、6を参照して下さい。
9. 1、2を参照のこと。出身大学と仕事の内容は、この後の授業で話します。
10. この後の授業で話します。
11. 結果的に仕事につながったのは、好きな科目の勉強をやり続けたこと。国際政治を研究することについては、この後の授業で話します。
12. 1、2の回答を参照して下さい。仕事の内容については、この後話します。

- 1 3. 外国と良い関係を築くには、まず経済関係（投資と交易）を深めること。次に文化交流を促進すること。そして最後に、安全保障協力を強化することが大切。日本のグローバル化対策も同じ。仕事のやりがいについては、2を参照して下さい。
- 1 4. 例えば中東特有の政治システムでは、部族や宗派のつながり、あるいは同郷による縁故主義が特徴的で、個人の学校歴の方が強く影響する日本ではあり得ません。
- 1 5. 国際社会とは、哲学的に言えば、中央政府のないリヴァイアサン（トマス・ホブズが考えた怪物としての「国家」）同士の「万人の万人に対する闘争」を自然状態とする社会。しかし、現在では国際法など一定のルールの下で、国連などの国際機関やNGOなどの活動も含めて国際社会が成り立っていると考えられています。
- 1 6. 就職の経緯については1、2の通りです。どんな試験を受けたかに関して述べると、まず大学院入学試験、国家公務員I種研究職採用試験、就職後にTOEFLなどです。
- 1 7. 世界で活躍するためには、日本の歴史と文化を深く理解して、それを英語で説明できる教養を身に付けることでしょう。
- 1 8. 国際政治とは、力と国際法を用いて国家間の対立する利害を調整することです。
- 1 9. 授業でお話ししますが、学力以上に人徳を身に付けることです。
- 2 0. 国際政治の現状は、一言でいえばアメリカと中国の主導権争いの段階。将来予測としては中国がいつ世界の地位に就くか、そして中国が民主化するかどうかが最も注目されています。この点は、日本の外交や安全保障に大きな影響を与えます。
- 2 1. 仕事の内容については、この後授業で話します。絶対必要な資格は学位（できれば欧米の大学院で博士号を取る）。仕事をして楽しい時については、2を参照して下さい。
- 2 2. 国際政治については、18と20を参照して下さい。何に役立っているのかと言えば、戦争状態をなるべく少なくするという意味で「平和」に役立っています。グローバル化時代の生き方については、3と17を参照して下さい。
- 2 3. 情報は、主として国内外の論文や本を多く読み、毎日インターネットでBBCやCNN、Al Jazeeraなどの英語ニュースをチェックすることで得ています。
- 2 4. 私がなぜこの仕事を選んだのかについては、1と2を参照して下さい。
- 2 5. 普段の生活は、個人の研究室があるのでそこに行くと、まず国内外から毎日送られてくる電子メールを確認して、仕事上必要なものに回答します。それからインターネットで国際情勢のニュースをチェックし、会議に出たりします。あとは最も大事な仕事である論文や本を読み、論文を書きます。研究所内外の講義や国際会議、研究会、そして学会に行くこともあります（忙しい時は10時間以上働きます）。
- 2 6. 就職できれば、給料はそれなりに高いと思います。高校時代にしておくべきことについては、4と5、そして6の回答を参照して下さい。